

令和5年度 湘南高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守意識を向上させて、勤務時間の内外を問わず、県民からの信頼を損なうことがないように、自らを律して行動する。	4月の不祥事防止会議で、教育公務員としての高い倫理観を保持して業務に当たることを確認した。10月と12月の不祥事防止研修会において、服務規律の遵守、飲酒をテーマに研修した。これらを通じて、公務員として、職務に専念し服務規律を遵守することの重要性を再確認した。目標を達成した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権意識を磨き、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントをする職員をゼロにする。	2月の不祥事防止研修会において、職場のハラスメントの防止について研修した。自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないように、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを確認した。目標を達成した。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権意識を磨き、絶対に当該行為を起こさない。	6月の不祥事防止研修会において、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止について研修した。生徒指導、部活動等については、必ず複数の教職員で対応していることを確認した。目標を達成した。
体罰・不適切な指導の防止	常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさない。	9月の不祥事防止研修会において、啓発・点検資料を用いて各自点検するとともに、アンガーマネジメントについて学んだ。生徒を一人の人間として大切に想い、しっかり向き合うことが重要であることを再確認した。目標を達成した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、盤石な体制で臨むことによって事故を未然に防ぐ。	7月と1月の不祥事防止研修会において、入学者選抜、成績処理等の事故防止をテーマにして、過去の事例から学んだ。気付いたことは必ず情報共有するなど、重要項目について点検を行った。入学者選抜、成績処理等を適切に実施できた。
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩及び紛失を未然に防ぐ。	5月と11月の不祥事防止研修会において、個人情報の取扱いと情報セキュリティについて研修した。特に電子メールの送信やUSBの管理について理解を深めることができた。目標を達成した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教育公務員としての高い倫理観を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行する。	企画会議及び職員会議の都度、「湘南からは事故・不祥事は出せない」を合言葉に不祥事防止の重要性について確認した。学年やグループ業務においても相互チェックを励行し、「ほう・れん・そう」を着実に実行した。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。	12月の不祥事防止研修会において、適切な私費会計の取扱いについて研修をした。今年度の財務事務調査指導結果を共有して、改善策の確認をした。目標を達成した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

令和5年度、風通しのよい職場づくりに取り組み、本校において事故不祥事はなく達成状況は良好であったと考えている。県内公立学校において、複数の重篤なわいせつ事案をはじめとする不祥事があり、そのたびに情報共有するとともに注意喚起を実施してきた。「湘南からは事故・不祥事は出せない」をスローガンとして、精度の高い自己点検の実施に加え、重要なことは複数人で複数回の点検、気にかかることは速やかに報告等を、管理職による継続的な声掛けや同僚性の構築により徹底し、プログラムの各課題の目標を達成することができた。

令和6年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、財務事務等の適正執行、個人情報の管理を重点課題として、不祥事防止研修会等で職員の意識啓発を行うとともに、日常の指導助言を通じて当事者意識を高めさせていきたい。